

# 平成27年度学力向上マニフェスト

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標(教師側の指標) 成果指標(子ども側の指標)	予算執行	取組の成果	評価
<p>○言語活動を充実させた授業と図書館活用をさらに推進する</p> <p>・昨年度図書館活用授業は115回で国語科と総合的な学習の時間であった。今年度はそのほかの教科で実施し、言語能力の向上を図りたい</p>	<p>○図書館活用指導員を配置</p> <p>・中学校で図書館活用を促進してきた指導員を継続配置をする</p>	<p>・図書館活用授業全教科に広げて、年間150回</p> <p>・「調べ学習コンテスト」への応募数80</p> <p>・都学力調査(2年生)B問題 区平均に</p>	<p>1日8,000円×12回=96,000円</p>		
<p>○確かな学力を定着させる授業の実現</p> <p>・これまで実施してきた授業内の学習補助の推進を継続する。</p>	<p>○授業内の学習補助としてTAを教員志望の大学生、大学院生などを毎日、1～2人配置する</p> <p>○寺子屋、補充学習等の教材の購入</p>	<p>・授業補助としてTAを毎週導入する。</p> <p>・「個に応じた指導」を70%超えに(26年度67.8%)</p>	<p>TA(授業内) 2,000円×3人×35回=210,000円</p> <p>プリンター用カラーインク 80,000円×1セット=80,000円</p> <p>補助教材の購入 44,000円</p>		
<p>○全ての生徒の「学び」が成立し、言語活動の充実で思考力・判断力・表現力を培う授業の創造</p> <p>・教員と講師の1対1ではなく、教科の教員同士で見合う授業と協議会を実施する。</p>	<p>○各教科ごとの授業研究と研究協議会を実施する</p> <p>・各教科の研究会に大学の教授などを講師とする</p>	<p>・各教科ごとの研究授業を全教科開催</p> <p>・「授業がわかる」の生徒評価を70%超えに(26年度62.3%)</p>	<p>研究授業講師報償費 13,000×2時間×5回=130,000円</p>		
<p>○タブレットPC活用のため、特別教室でのICT教育の推進を図る</p> <p>・これまで特別教室には電子黒板の代わりに設置する。</p>	<p>○タブレットPC活用推進のため、特別教室(金工室、被服室)にタブレットPCと連動させたプロジェクターを設置する。</p>	<p>全教科タブレットPCを活用した授業を実施する。</p> <p>・「ICT機器を使う」を90%(26年度80.8%)</p>	<p>プロジェクター2台 220,000円×2台=440,000円</p>		

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める  
A:達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B:達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C:達成度が5割未満 → 目標の見直し